

イチゴ狩りの季節到来



町内イチゴ狩り園では、12月上旬からイチゴ狩りがスタート。オープンに伴い、奈良本区の樋ノ口園は、地元熱川幼稚園児34人を招待しました。

今年は、度重なった台風の影響により、例年よりも約1週間ほど成長が遅れましたが、大粒で真っ赤なイチゴをほおぼる園児たちは、「甘くておいしい!」とお腹いっぱい大満足の様子でした。

レーザーカッターで「モノづくり」 EAST DOCK クリスマス

芝浦工業大学が改修に取り組む東海汽船事務所2Fフロアは、「モノづくり」をコンセプトに町内外の方々が利用できるスペースとして、4月オープンを予定しています。12月15日、プレオープンイベントとして、新たに導入したレーザーカッターのデモンストレーションを行い、クリスマスグッズの製作体験を実施しました。



世界ジオパーク ~ワサビもシイタケもジオの恵み~

Q: 伊豆の特産物にはどんなものがあるの?

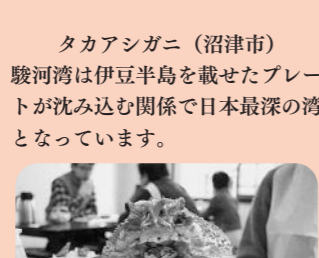
A: 山の幸ではワサビ、シイタケ。海の幸ではキンメダイ、タカアシガニが有名だね。天木山麓にはワサビの栽培に適した適温、適量の湧水があちこちで出る。シイタケは雨が多いという気象条件に加え、江戸時代にこの地で栽培技術が確立されたという歴史的背景もあるんだ。キンメダイ、タカアシガニは深海魚。伊豆半島を取り囲む駿河湾、相模湾は日本で1位、2位の水深があり、漁港からすぐ先で深海魚が獲れる。深い海に面しているのは伊豆半島を載せたプレートが本州の下に潜り込んでいるせい。伊豆半島の特異な地形があっこそ特産品が生まれたんだ。

Q: ほかに伊豆ならではのものはあるの?

A: 温泉もジオの恵みだね。火山はいったん噴火すれば災害をもたらす。だけど、マグマの熱が地下の水を温めるからあちこちで温泉が出るんだ。わたしたちの生活は大地に深い関係があるんだよ。



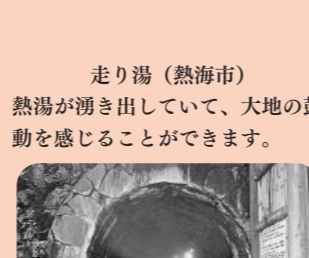
ワサビ沢 (伊豆市)
天城山麓など火山性土壌に覆われた地域で豊富な湧水はワサビの栽培適地となっています。



タカアシガニ (沼津市)
駿河湾は伊豆半島を載せたプレートが沈み込む関係で日本最深の湾となっています。



黒根岩風呂 (東伊豆町)
温泉は地下のマグマだまりによって温められた地下水。



走り湯 (熱海市)
熱湯が湧き出していて、大地の鼓動を感じることができます。

約5か月間の厳しい練習に取り組み支え合った“絆”のチカラ 第19回 しずおか市町対抗駅伝競走大会

12月1日(土)、第19回しずおか市町対抗駅伝競走大会が開催され、県内38チーム(市の部:26チーム、町の部:12チーム)が参加。今年も数々のドラマ・名シーンが生まれました。

選手は静岡県庁前をスタートし、草薙総合運動場までの12区間42.195kmの道のりをたすきでつなぎ、各チームともに力の限りを尽くして走り抜きました。今年の東伊豆町チームは、例年よりも1か月早い7月末から練習を開始。約5か月間の厳しい練習に取り組み臨んだ結果、順位は町の部11位でしたが、前大会タイムを約30秒縮め、次回につながる走りことができました。



午前10時 県庁前をスタートする全38チーム



選手・関係者の皆さん おつかれさまでした



10区 相澤選手から11区 山田選手へのたすきリレー

率直な意見を堂々と発表

青少年主張発表大会

11月24日(土)、役場1階大会議室において、第34回東伊豆町青少年主張発表大会が開催されました。

この大会は、青少年の意識に対する町民の理解を深め、児童・生徒の健全育成の一助として毎年開催されています。司会や受付等の運営は稲取高校ボランティア部員が協力し、円滑に進行されました。

小・中・高校生からは、日頃から感じていることについての意見や疑問、提言がなされ、町や教育関係者、保護者ら約150人が真剣に耳を傾けていました。



発表者と稲取高校ボランティア部の皆さん

発表者の皆さん

小学生の部

- ぼくの町 東伊豆町 熱川小学校6年 稲葉佳文さん
- 東伊豆のこれからの未来をみすえて 稲取小学校6年 鈴木 尚さん

中学生の部

- ネットのコミュニケーション 熱川中学校2年 木村優太さん
- 少しの勇氣 稲取中学校1年 鈴木泰晴さん
- 身近な人の人権を守る 熱川中学校3年 藤井菜々美さん
- 一人ひとりが暮らしやすい 稲取中学校3年 前田晃佑さん

高校生の部

- 高校生活の過ごし方 伊東高校城ヶ崎分校1年 太田あゆみさん
- 高校生になって 稲取高校1年 佐藤南星さん
- 日本人の感性と異文化との交流 下田高校1年 高羽隆生さん